

◆平成27年度学生募集!!

10月1日入学願書受付開始!!

企画広報室 高橋 達也

みなさん、こんにちは!今年度もあと半年となりました。月日が過ぎていくのはあっという間ですね。残りの半年も悔いのないよう、充実した毎日をご過ごしましょう!

さて、本学でもいよいよ入学選考が始まります。本学の入学選考方法は、『AO入学選考』『指定校推薦選考』『特待生選考』『一般選考』『自己推薦選考』『社会人入学選考』『留学生選考』などがあります。このように様々な方法で、みなさんの後輩たちが受験に挑戦していきます。皆さんにとっては1~2年前のことですが、「あの頑張った時期」と、既に懐かしく感じるのではないのでしょうか。皆さん、受験生が本学へ訪れた際には、是非声をかけてあげてください。『挨拶を基調とした全人教育』を在校生の皆さんから受験生たちへ伝えて頂くのと同時に、皆さんの挨拶と笑顔で、受験生たちの緊張をほぐしてあげてください!後輩にお伝え頂くことで、もし何かわからないことがありましたら、企画広報室へいつでもお越しください。

また、入学選考が始まった後も毎月オープンキャンパスを開催します。高校の後輩や身内の方などで電子情報や福祉医療への道を希望されている人がいましたら、是非とも本学のお話をし、オープンキャンパスへの参加を勧めてみてください。そして、本学は『なりたい自分になる!』ための最良の環境であることをお伝え下さいね。みなさんの力で、これからの中村学園をさらに盛り上げていきましょう!宜しくお祈りします。

~第1回入学選考日および出願期間~

第1回入学選考A日程

①指定校推薦選考 ②自己推薦選考 ③社会人選考

入学選考日: 10月18日(土)

出願期間: 10月1日(水)~10月17日(金) 15時

第1回入学選考B日程

④特待生選考 ⑤一般選考 ⑥留学生選考

入学選考日: 10月25日(土)

出願期間: 10月1日(水)~10月24日(金) 15時

※A、B日程よりそれぞれ1つ選考方法を選択して下さい。
2つ以上の選考方法での出願も可能です!!
詳細については、企画広報室までお問い合わせ下さい!

10月の行事



1日(水) 願書受付開始!!

オープンキャンパス 17:00~18:30

2CP保育実習I(施設)1グループ~10/12(日)

4日(土) オープンキャンパス 13:00~14:30

第一ひかり幼稚園運動会

☆託児所: 有

9日(木) 常葉系統別講座 13:10~15:00

11日(土) 第一ひかり幼稚園運動会 予備日

13日(月) 体育の日

14日(火) 秋季スポーツ大会

15日(水) オープンキャンパス 17:00~18:30

17日(金) 2CP保育実習I(施設)2グループ~11/2(日)

18日(土) 第1回入学選考A日程

☆託児所: 有

19日(日) 情報処理技術者試験

20日(月) 体育集中◎

23日(木) オープンキャンパス 17:00~18:30

25日(土) 第1回入学選考B日程

27日(月) 2TW・CW第4期実習 ~11/22(土)

29日(水) 入試振休

30日(木) J検 CBT

オープンキャンパス開催日程

◎学校・入学選考説明会、ミニ体験入学

10月 1日(水) 17:00~18:30

10月 5日(土) 13:00~14:30

10月14日(水) 17:00~18:30

10月23日(木) 17:00~18:30



※保護者対象説明会、学費等納付金・奨学金説明会も同時開催※

◆「就活の壁」は、みんなが経験するもの。

さあ、それを乗り越えて、成長しよう!

進路室 橋野 幸男

例年ならば「新卒就職戦線は中盤から終盤に」と言われるこの時期、本年はマスコミ報道で「採用氷河期」、「秋採用」は例年より拡大する見通し」という文言が用いられるように、企業の求人意欲は旺盛で、学生にとっては例年以上のチャンスが存在しています。

ところで、学生の様子を見ると、残念ながら未だ内定に至らずモチベーションが低下している者、あるいは、これまでの活動が少々不活発だったため就活テンポがまだ身に付いていない者などが散見されます。

しかし、今年度は上述のように、例年以上のチャンスが残っています。学校求人や新卒応援ハローワークの求人なども活用して、果敢にチャレンジしていきましょう。

実は、就活期間は多くの者にとって「長期戦」です。その間、「思うように進まぬことに焦る」、「どうしていいかわからず不安になる」、あるいは「心身の疲れを感じる」という場面は、非常に多いものです。リクルートキャリアのレポート(H.26.3.27)に、次のようなデータが紹介されています。

「就活中に壁にぶつかったと感じたことはありますか?」⇒「ある」
78.2%

つまり、「就活の壁」は約8割の学生が経験する、「みんなが通る道」なのです。

以下では、同レポートを参考に、先輩たちが「この壁をどう乗り越えたか」をいっしょに見ていきましょう。

= 壁の乗り越え方は、「周囲に相談」して「とことん考える・練習する」。そして、「気持ちの切り替え」が大事 =

「就活中の壁をどうやって乗り越えましたか?」という質問に対して、「周囲に相談する」が圧倒的に多く、その上で「一人でとことん考え抜く」といった行動をとっています。そして、長期戦の中では「気持ちを切り替える、ポジティブに考える」ことも大切だと答えています。

①「周囲に相談」。

親や友人、知人に相談し、意見をもらう。励ましてもらう:

壁に直面した時の何よりの解決策は、内にこもらず人と会い、話すことです。例えば、

- ・「親、友人や進路室のスタッフなど、他人の立場から自分の性格分析や面接での対応の仕方などについて相談に乗ってもらった」
- ・「自分の失敗を友人や家族に自分から話すようにした。そうすることで、自分の中でも頭の整理ができて、冷静になれる気がした」

②「とことん考える・練習する」。

とことん考え抜く、練習やイメージトレーニングをする：

周囲との相談に加えて、原因やその対策をしっかりと考え、練習するといったことの大事さを、壁を乗り越えた先輩たちは挙げています。「今の自分に足りないことを認識して、それに取り組む」という確実な努力を行なっています。例えば、

- ・「要点のみを紙にまとめ、その時その時に話をまとめようと努力した」
- ・「面接で受けた質問をノートに書いて、次に確実に活かせるようにした。ノートに書き出すことで、考えもまとまった」
- ・「自己分析は己を知る意味でも、自分を第三者に表現する上でも大切なことだ、と分かり始めている。自己分析を積み重ねていくと、面接での対応や、私が今まで自分をどう見ていたかがよく分かり、積極的に行なっていくのがどれほど大切なのかやっとなり理解できた」

③「気持ちの切り替え」。Change of mind：

「不合格」はあなたの全人格を否定されたということではありません。残念ながら縁がなかった、ということです。例えば、

- ・「第一志望の企業から内定を得ることはできなかったが、後悔はしていない。自分が信じた方法で最善の対策をとってきたからだ。内定をもらった企業で全力で輝けるように、今から働く姿をイメージし、残りの学生生活を送っていきたい」

「就活の壁」を乗り越えた先には、いわゆる「一皮剥(む)けたあなた」がいるはず。私たちもご家族も、皆さんが「就活を通じて成長する」ことを信じて、応援しています。



◆夏季病院実習を終えて

医療情報秘書科 2年担任 齊藤 秀樹

夏季病院実習では、学習してきたことを確認するとともに体系化し、また机上では学習することのできない患者対応、各種事務処理、医師・看護師等とのチーム医療などを体験することにより、目指す職業に対する認識と医療従事者としての意識の確立を目的とします。今回の夏季実習は1年次の春季実習の反省をもとに、各自がそれぞれのテーマを設定し、取り組みました。

医療情報秘書科 2年 菅沼 実和

春の実習では、入院事務の実習をさせていただきましたので、今回が初めての外来事務でした。最初の2日間は、事務の方の仕事の一連の流れを見学し、なんとなく自分の頭の中では、わかっているつもりでした。しかし、実際に患者様の前に立つと緊張してしまい声が小さくなり、慌ててミスもしてしまいました。同じミスを繰り返さないよう「焦らず丁寧に」を心掛け、診察券の作成、先生が見やすいようなカルテ作りにも取り組みました。何をすればよいかわからないときは、必ず確認し、積極的に行動できたと思います。

初診で不安な気持ちを抱えた患者様や何年も通われている患者様など様々な方がいる中で、臨機応変に対応することが難しく苦戦しましたが、最終日には、患者様とコミュニケーションをとることが楽しくなっていました。社会に出てからも、常に患者様を第一に考え、仕事ができたらなと改めて感じることができました。

医療情報秘書科 2年 佐藤 直美

今回の実習テーマは、「医療事務の仕事内容の把握」と「患者様との積極的なコミュニケーション」でした。実習期間が十日間でしたので、その日ごとの目標を設定し、取り組むことができました。

実際に受付に立ち、検査や診察の受付業務を行ってわかったことは、迅速にミスのないように、受付から会計までを行い、患者様に丁寧な対応をするということです。とても混雑している中、「あとのどのくらい待たばいいの?」、「どうして今日の会計高いの?」など、授業では学習していた対応の場面に出合い、いざその場になると少し困ってしまいましたが、スタッフの方は、少し苛立っている様子の患者様に対しても、納得のいくよう説明をされていました。そのような対応の仕方を、理解するだけでなく、実際にできるよう、この実習を通して、身に付けなければと思いました。

一番印象に残っていることは、お会計の際、患者様から「ありがとう」といわれたことです。やはり、医療事務員は、とてもやりがいのある仕事だと改めて実感することができました。

◆第4期介護実習に向けて

総合福祉学科 2年担任 本多 祥子

介護福祉学科 2年担任 花澤 つばさ

第4期実習は総合福祉学科、介護福祉学科にとって、集大成となる介護実習です。介護計画・実施・評価を行うために、1ヶ月間の現場実習を行います。



総合福祉学科 2年 堤 菜

いつの間にか、もう3年間の学校生活の折り返しにきています。あれほど長いと思っていた第3期介護実習の25日間も終えてしまえば短かったように感じます。

第3期介護実習では、介護計画の立案・実施を行いました。ところが、いざ実施してみようと利用者様に声をかけても、利用者様の気分が乗らなかつたり、拒否がみられたりと計画通り行うことは困難でした。また、私自身の焦りや不安も重なり、思い悩むことも多くありました。そんな時に、利用者様から「大丈夫?今日は元気ないね。」との思いがけない言葉をいただき、驚いたと同時にとても心が温かくなりました。支援するはずの私が、逆に励まされた瞬間であり、私のことをよく見てくださっていたことに気付いた瞬間でもありました。楽ではなかった25日間の実習を無事に終えることが出来たのも、利用者様が私を温かい目で見てくださったおかげで

す。認知症を患っていても、人を思いやる気持ちがあるということをもつて学ぶことができました。

第4期実習では、利用者様の一部を捉えるのではなく、広い視野をもって利用者様全体を捉えていきたいです。そして、一つひとつの経験を私の介護の力に変えて、利用者様らしさや笑顔が表れる個別性のある介護の実践力を身に付けたいです。

介護福祉学科 2年 大塚 裕生

第1期、第2期実習で私は介護福祉士に向いていないのではないかと、真剣に介護への道にいくべきなのか考え、悩みました。

コミュニケーションを図ることは得意だったので、利用者様と早く信頼関係を築けると思っていました。しかし、思っていたものと違い、コミュニケーションを上手く図ることができませんでした。認知症の方と実際に接し、介助もさせていただきましたが、最後まで認知症の方への恐怖心が消えることはありませんでした。

第3期実習は前回と同じ施設での実習だったため、施設に対しての緊張感はありませんでした。しかし利用者様とのコミュニケーションに恐怖心を持ったまま実習に臨みました。25日間という長い期間で、自分の考えに変化がありました。利用者様と関わる時間が楽しく有意義な時間であり、利用者様からの「ありがとう」の一言で、嬉しくなり、もっと深く関わっていきたく強く感じるようになりました。利用者様のことを考え、介護計画も立案することができました。

第4期実習は、学生として最後の実習となります。今まで学んだコミュニケーションの図り方、技術、知識を復習し、さらに成長できる良い実習にしたいと思います。

◆秋季スポーツ大会に向けて

学生会 会長 介護福祉学科 2年 大塚 奈葉

秋季スポーツ大会は前回同様、男女ともサッカーを行います。前回の大会を踏まえ、良かったところを活かし反省点を改善しながら、より良いスポーツ大会になるようにしたいです。

春季スポーツ大会は会長として初めての行事だったため、不慣れな点も多く、先生をはじめ皆様にご迷惑をおかけしました。今回は会長としての役割を自覚し、迅速且つ柔軟な対応を心掛けます。私の目標は、マナーやルールを守って競技をしていただき、クラスが協力し、学生会や一部の生徒だけが楽しむのではなく、学生全員が楽しめるように運営することです。そのために私は、率先して行動し学生を引っ張っていきます。より良いスポーツ大会になるように、精一杯頑張ります。みなさまもご協力よろしくお願い致します。

